

地域による子育てモデル創出プロジェクト  
～稲梓地域からの子育てモデル発信～

# 森を守るしごとを知ろう

問合せ先 企画課政策推進係（河内庁舎2階） ☎22212

上智大学と下田市、地域企業の3者が連携した地域における子育てモデルの構築について、同大学総合人間科学部社会学科 田淵六郎教授から提案を受け実施しました。

今回は、稲梓小学校4年生を対象に、地域企業である株式会社いなさき林業様の協力を得て、「森を守るしごとを知ろう」と題し、第一部では、林業の現場見学と作業を体験。第二部では、東北大学にも協力いただき「なぜ、森を守るしごとが大切なのか」というテーマで授業を受けた後、「稲梓の森林を守るために私たちができること・やりたいこと」と題してワークショップを実施しました。参加した児童からは、「木々がしっかりと成長するように間伐をしたり、あるいは苗木を植えることで、森がよい状態を維持されていることが分かった。」とか、学校での学習を踏まえ、「木を切ることの大切さを学び、その中で実際に山で木を切っている現場を見ることができて勉強になった。」と感想を述べていました。

## 下田市・上智大学 連携事業について

令和5年8月8日に連携協定を締結。本市が取組む「グローバルCITYプロジェクト」の目的と国際性豊かな上智大学が目指す使命とが合致したことで実現し、教育事業や環境保全事業等で協働。

## みなとオアシス下田 キッチンカーフェスタ 開催

問合せ先 企画課政策推進係（河内庁舎2階） ☎22212

2月21日（土）・22日（日）の2日間、みなとオアシス下田の活性化とキッチンカー同士のつながり構築を目的に、まどが浜海遊公園にて「みなとオアシス下田 キッチンカーフェスタ（実証実験）」を開催しました。市内をはじめ、県内や近隣県から延べ45台のキッチンカー等が集まり、多くの来場者で賑わいました。

■みなとオアシスとは？  
地域住民の交流や観光の振興を通じて地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設として、国土交通省より登録されます。

■みなとオアシス下田  
令和4年1月に、下田港、道の駅開国下田みなと、まどが浜海遊公園、旧町内、下田公園を含むエリアで指定されました。

